



うちどく 家読

みんなで
いっしょにたのしむ

この場面がすき!

おもしろいね

そうだね



本と出会おう

学校・園、公共図書館、児童館等、いろいろな場所で本と出会えます。

まずは、 やってみよう

気構えることなく、無理なくそれぞれのスタイルに合わせた楽しみ方を見つけましょう。

大人も楽しもう

身近な大人が読書する姿を見て、子どもは本に興味をもつようになります。本を手と一緒に過ごす時間を楽しみましょう。



※「家読(うちどく)」とは…大人が子どもと一緒に同じ本を読むことで、本に親しみ、本を通してコミュニケーションを図ることを目指す活動のことだよ!

～こころに届く大人からのあたたかな語りかけ～



家読のうちどく の効果



「ことば」も
「こころ」も豊かに
育てる



子どもはおはなしの楽しさ感じるひとときを通して、情緒や想像力が育ち、ことばを覚える機会にもなります。ことばを学ぶことで考える力が育ち、人にかかわろうとする気持ちも育ちます。

動画等の映像メディアと大人からの語りかけには違いがあります。読み聞かせは子どものペースで見たり、会話をしたりしながら読み進めることができ、大人とのつながりを深めます。

子どもからの
信頼を深める



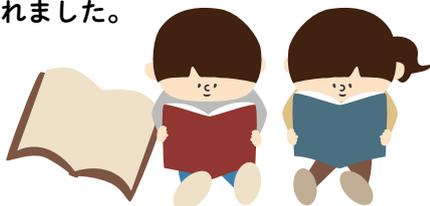
物語による
体験が
想像力を育てる



物語を聞いているときは、登場人物になりきって、想像の世界を自由に楽しめます。いろいろな世界の登場人物のさまざまな気持ちにふれることで、他人の感情や思いを知ることができ、想像力などを身に付けていきます。

読書習慣がはぐくむもの

身近な大人からの読み聞かせ等により、子どもが読書に興味をもつようになり、日常生活を通して読書習慣が形成されていきます。子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。「令和5年度全国学力・学習状況調査」の調査結果によると、児童質問紙調査で「読書は好きですか」への質問に「読書が好き」と回答した児童ほど、国語の正答率が高い傾向が見られました。



「読書は好きですか」への回答と 国語の平均正答率

(令和5年度全国学力・学習状況調査：小学校)

